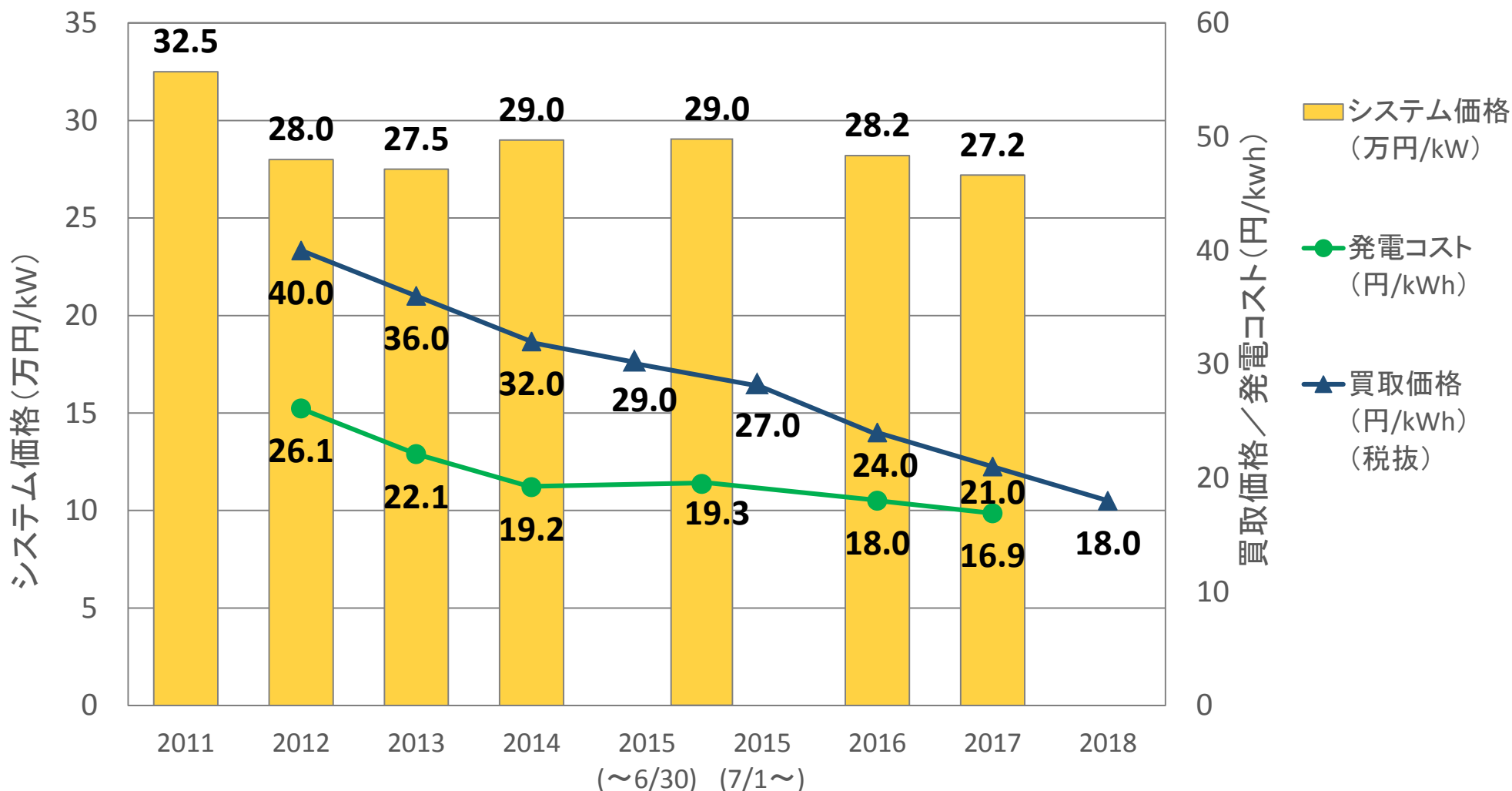


# 太陽光発電システム非住宅（10kW以上）の状況



(設備利用率 12% 13.6% 15% 14.6% 15.1% 15.6%)

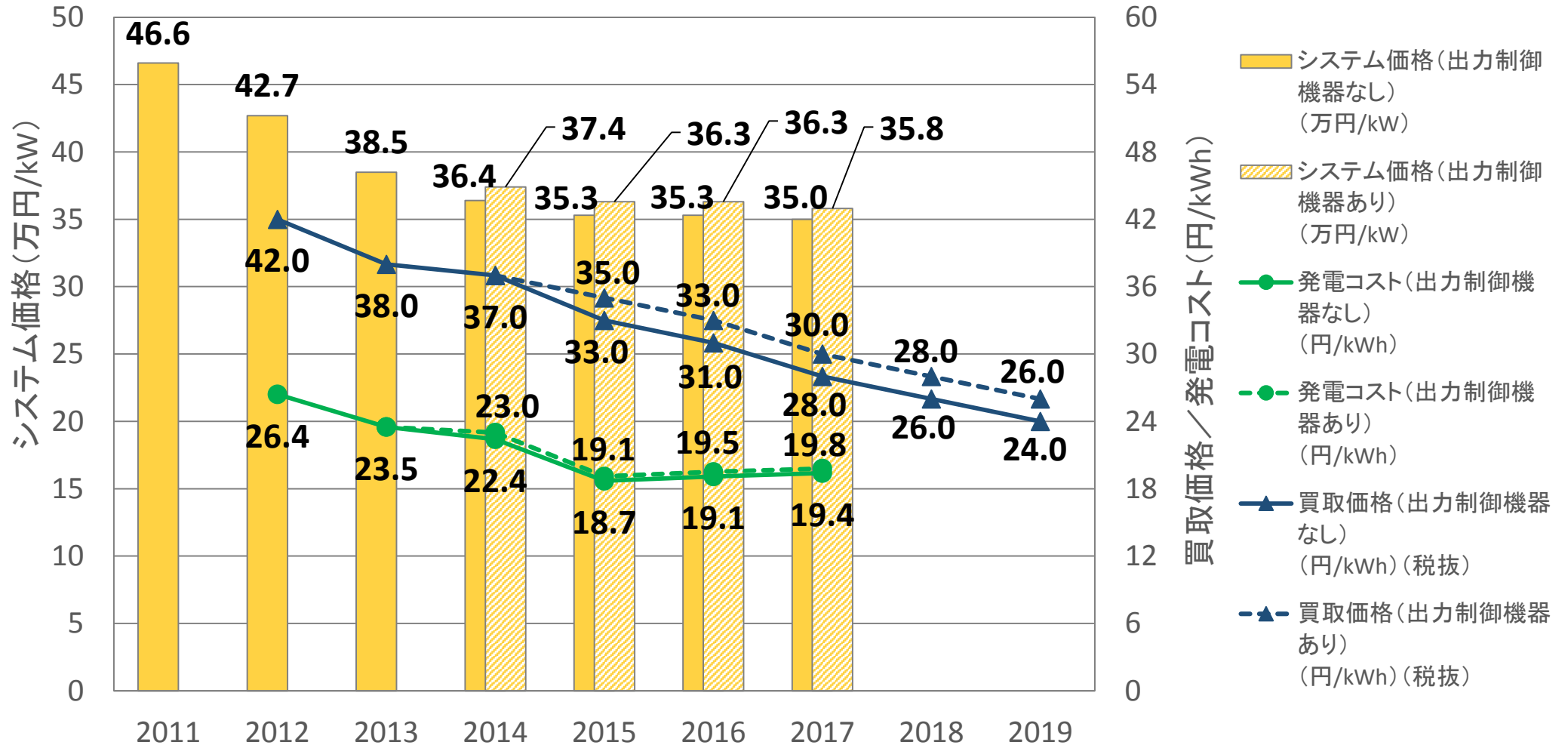


- (※1) 2012年の設備利用率は、コスト等検証委員会の各電源の諸元一覧の値を採用。
- (※2) 2013～2017年の設備利用率は、各年の1,000kW以上の設備の平均値。ただし、平均値の算出方法は、2014年までは買い取った電力量を全体の認定出力で除した値の平均(加重平均)で算出し、2015年以降は単純平均で算出。
- (※3) 2011年のシステム価格は、コスト等検証委員会の下限値(35万円/kW)を下回る値を採用。
- (※4) 2012年のシステム価格は、2012年度第3四半期の1,000kW以上の設備の平均値を採用。
- (※5) 2013、2014年のシステム価格は、報告徴収によるそれぞれ2013、2014年度第3四半期の1,000kW以上の設備の平均値を採用。
- (※6) 2015、2017年のシステム価格は、それぞれ2015、2017年の1,000kW以上の設備の中央値を採用。
- (※7) 2016年のシステム価格は、2016年第3四半期までの1,000kW以上の設備の中央値を採用。

# 太陽光発電システム住宅（10kW未満）の状況



(設備利用率 12% 12% 12% 13.8% 13.4% 13.1%)



(※1) 2012～2014年の設備利用率は、調達価格等算定委員会で調達価格算定時に採用した値を使用。

(※2) 2015、2016年の設備利用率は、2015、2016年に収集された年報データの平均値を採用。

(※3) 2017年の設備利用率は、定期報告データの2016年7月～2017年9月の間に収集したシングル発電案件の平均値を採用。

(設備利用率については、気象条件等による上下動がありうるため、今後の長期的な動向を注視する必要があります。)

(※5) 2011年のシステム価格は、2011年度第4四半期の住宅用太陽光補助金制度の執行結果を採用。

(※6) 2012～2014年のシステム価格は、それぞれ2012～2014年度第3四半期の新築住宅設置の平均値を採用。

(※7) 2015年のシステム価格は、2015年の全体(新築・既築)平均価格に対する新築価格の比率(95.2%)を用いて推計した値を採用。

(※8) 2016、2017年のシステム価格は、それぞれ2016、2017年の新築住宅設置の中央値を採用。